

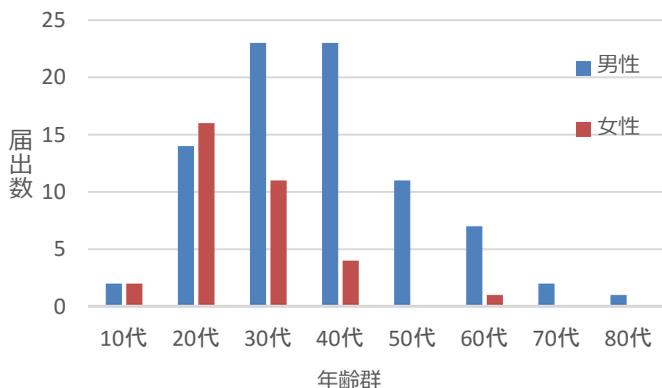
梅毒患者が増加しています！

県内の2018年の梅毒届出数は、過去10年間で最も多かった2017年の同時期（9月30日時点）105件を超える120件にのぼっています。

近年、梅毒の発生届出数は、全国的にも大幅に増加が続いており、特に男性では20～50歳代、女性は20～30歳代でその報告が目立っています。

梅毒は治療しないで放置しておく、神経症状など重大な病気へ進行するほか、妊婦では、早産、死産、先天梅毒の原因となります。そして、治療しても再感染の可能性があることや、感染しているとHIVなど他の性感染症にもかかりやすくなることなどから注意が必要です。感染初期の症状として、またの付け根のリンパ節が腫れたり、手のひらや体全体に赤い発疹が見られることもあります。症状がほとんどなかったり、症状が消えてしまうこともあるため、まずは検査を受けることが早期発見につながります。

2018年（第1～第38週）に県内医療機関から届け出られた梅毒症状の年齢群分布（計117件）



猫は室内で飼いましょう

千葉県動物の愛護及び管理に関する条例では猫の室内飼いを努力義務としています。飼い猫を外で自由にさせると、交通事故、ウイルスや細菌などの感染症、さらには猫同士のケンカなど多くの危険にさらされてしまいます。また、庭・ごみ荒らしや糞尿などによりご近所トラブルの原因になることがあります。

室内で飼うことは、ご近所トラブルを防ぐだけでなく、猫の健康と安全を守るためのメリットが非常に多いのです。

屋外で猫の世話をしている方へ

不妊・去勢手術を実施し、これ以上増えないようにしましょう。

餌を与える場所を決めて、猫が餌を食べたら速やかに片付けましょう。

猫用のトイレを設置して、他所で糞尿させないように努めましょう。

新しい飼い主を探して、飼い主のいない猫をなくしましょう。

人と猫との調和のとれた住みやすい町づくりのため、猫の適正な飼養に努めましょう。

「新鮮だから安全」ではありません！

生や加熱不足の鶏肉料理によるカンピロバクター食中毒が多発しています！

カンピロバクターって何？

- ・ニワトリやウシなどの腸管内にいる細菌で少量の菌数でも食中毒になります。
- ・市販の鶏肉から高い割合（20～100%*）で見つかっています。
- ・食べてから1～7日で下痢・腹痛・発熱・頭痛などを発症します。
- ・感染して数週間後に「ギラン・バレー症候群**」を発症することもあります。



*「カンピロバクター食中毒予防について（Q&A）」厚生労働省ホームページ

**手足の麻痺、顔面神経麻痺、呼吸困難などを起こします



食中毒予防のポイント

カンピロバクターは熱に弱いので、しっかりと加熱することで食中毒を防ぐことができます。

家庭での食中毒を防ぐために

- ・食肉は十分に加熱しましょう（鶏肉は中心が白くなるまで焼きましょう）
- ・食肉はサラダなど生で食べるものとは別に調理しましょう
- ・食肉を取り扱った後は十分に手を洗いましょう
- ・食肉を調理した器具は熱湯で消毒しましょう

楽しい外食にするために

- ・よく加熱された鶏肉料理を選びましょう



「チーバくん」

お家の中で飼って欲しいにゃ♪

